

ご Welkom by にほんご Maligayang
pagdating sa にほんご Fáilte go dtí

にほんご Selamat datang di にほん
ご Bienvenue à にほんご

Willkommen in にほんご Witamy w に

ほんご Begrüßung にほんご 歡迎來
到 にほんご Üdvözlünk a にほんご

ban ยินดีต้อนรับสู่ にほんご Д о б р

о пожаловать в にほん

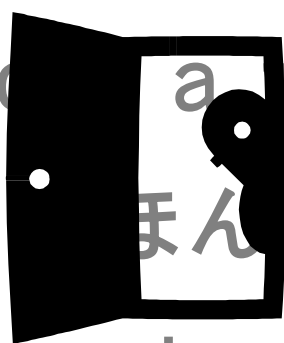
ご 어서오세요 にほんご에 歡迎來到

にほんご Welcome to にほんご Chào

mừng đến với にほんご Bem-vindo ao

にほんご Selamat datang ke にほん

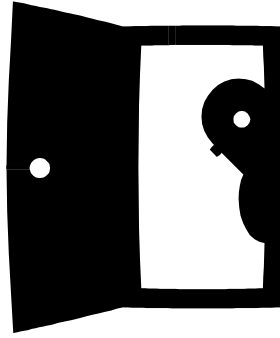
ご Bienvenue à にほんご Vítejte v



IFIE

ご Welkom by にほんご Maligayang
pagdating sa にほんご Fáilte go dtí
にほんご Selamat datang di にほん
ご Bienvenido a にほんご
Willkommen in にほんご Witamy w に
ほんご Benvenuti a にほんご 欢迎来
到 にほんご Üdvözlünk a にほんご
ban ยินดีต้อนรับสู่ にほんご Д о б р
о п о ж а л о в а т ь в にほん
ご 어서오세요 にほんご에 歡迎來到
にほんご Welcome to にほんご Chào
mừng đến với にほんご Bem-vindo ao
にほんご Selamat datang ke にほん
ご Bienvenue à にほんご Vítejte v

ようこそ にほんごへ



目次

この本を使われる方へ

- テーマ① 人と出会う
- テーマ② 家族
- テーマ③ 近所
- テーマ④ うち
- テーマ⑤ 私の一週間
- テーマ⑥ 私の日
- テーマ⑦ 買い物
- テーマ⑧ 持ち物
- テーマ⑨ 仕事
- テーマ⑩ 食べ物
- テーマ⑪ 私のこれまで
- テーマ⑫ ふるさとの思い出
- テーマ⑬ 季節・行事・風習
- テーマ⑭ 健康
- テーマ⑮ 家計・節約
- テーマ⑯ 男と女

学習内容一覧

この本を使われる方へ

この本は、主に日本で生活する外国人の「初期指導」用の、つまり日本に来たばかりの人や、「日本にはもう何年も住んでいるけれど日本語を習うのは初めて」という人のための日本語の教科書です。教科書と言っても、これまで皆さんにお馴染みの日本語の教科書とはかなり違ったものになっていると思います。

何が違うかという、まず第一に、この教科書は教室に来た人が、（まだあまり日本語が使えない人でも）、自分の持っている最小限の日本語の知識で「自分のことを語る」ことを目標として作られています。初期指導の日本語教室にやってくる学習者の中には、全く日本語の知識がゼロと言ってもいい人から、多少の日本語や日本文化の知識もある人、また長く住んでいる間に会話能力はかなり身につけているけれど、正確な文で話せなかったり、日本語の読み書きが全く出来ない人までさまざまです。

ですから、教室にやってきた学習者のレベルがゼロ初級ならことばのインプットから丁寧にしてほしいですし、会話能力だけの人には、話したことをまとめた文で書いてみる作業をじっくりやってもらってください。もし、日本語のレベルが高く、ボキャブラリーもかなりある人ならば、話題をどんどん発展させて、濃密な会話を楽しむ時間にしてください。

レッスンのやり方は、教師が一人で複数の生徒を教える「教室タイプ」のクラスや、コーディネーター（教師）のほかに複数のサポーターが入る「交流型クラス」、または1対1の個人レッスンでも使用可能です。「交流型クラス」に入るサポーターもちろんですが、個人レッスンの場合は会話の相手は教師だけですので、教師も生徒と同じように、時には生徒よりも多く「自分のこと」を語らなければなりません。

また、この教科書は、教科書と言うより、色々な料理のアイデアが載っている「レシピ集」のようなものだと考えてください。ですから、この本の最初から最後まで順番にやる必要など全くありません。目次を見て、やりたいと思うテーマを、またはこれなら出来そうだと思うテーマを、やりたいと思うときに取り出してやっていただければ結構です。また、これらはそれぞれのテーマについての「基本の」レシピと思ってください。ですから、この本に書いてあることを、書いてある通りにやるだけでは、本当に美味しい料理にはならないかもしれません。本当はこの本を使われる皆さん自身が、新鮮な素材を持ちよって、味付け、トッピング、盛り付けなどに腕を振るってほしいのです。とくに視覚に訴える、写真や絵や印刷物や実際の物などを教室に持ち込むことは、学習者の理解を助けるだけではなく、教室で行われる会話の中に生き生きとした文脈や彩りを与えるために重要です。

そして、最も重要なことは、生き生きとした授業は、教室の中で、教師も学習者も含めた参加者同士のやり取りの中から生まれるということです。この本に書いてあることを、ただ読んだり、理解したり、繰り返したり、表現を覚えたり、シートに記入したりするだけでは生きた授業にはなりません。より大切なのは、そうした活動をしながらか、参加者の間に自然に起こるやりとりなのです。話題の逸脱も、もちろん大歓迎です。そのような生きたやり取りを授業の中で起こしてほしいと思いますし、そのきっかけになればいいという考えから、この教科書は作られています。ですから、この本を学習者の自習用の教材として使うことはあまりお勧めできません。

次に、この本の構成について紹介します。

各テーマの構成：

<学びのポイント>・・・それぞれのテーマについて、どんなことを目標としてレッスンをするのが書いてあります。「どんな” 学び” があるのか」と言い換えても良いでしょう。ただし、ここに書いてあることを全部する必要は必ずしもありません。レッスンにかけられる時間や、学習者（のレベル、興味）にあわせて、どの目標を、いくつ達成するかを選んでかまいません。

<ことばマップ>・・・各テーマのキーワードを、関連したもの同士をグループにまとめて示しています。学習者がこれらをすべて覚える必要はありません。また、これは活動に必要な言葉を網羅した完全なリストではありません。あくまで、この話題でよく出てきそうな基本的なことばの見本です。教室では参加者（学習者と教師、サポーター）同士で、参加者の関心に従って、他にも必要な表現や関連した言葉があるか確認し、適宜追加してってください。学習者に使ってほしいことばは、教師・サポーターが①文字を見ながらきちんと声に出して読み聞かせ、②その言葉を適当な文脈の中で使って見せてください。その作業は、活動の前にやってもいいですし、または活動後の語彙の復習として行っても良いですが、活動しながら、必要に応じて確認するのが最も効率的かもしれません。

<表現リスト>・・・この話題で、活動をしていく上で、基本となる表現をQ Aの形で出しています。出てくる文の配列は、<活動ユニット>の順番に緩やかに呼応していますが、特定の活動に特定の文型を使わなければいけないということは必ずしもありません。その話題で初めて話をする学習者には、ここに出てくる文の形を使って覚えてもらえばいいですが、他の表現を使って話せる学習者には、この表現を使いなさいと制限することはありません。また、この教科書は、いわゆる「文型積上げ式」という考え方に準拠していませんので、ここで扱う表現や活用形が初出であるか既習のものであるかに関わらず、その時のその活動の中で、その表現が使えればいいのです。また、それを無理に覚えるよりも、会話の中で何度か使うことによって習得してくれば良いのです。同じ表現がこの教科書のほかのところで何度か出てくることもあります。

なお、この<表現リスト>で使った記号について、説明しておきます：

- a. 丸囲み・・・その課で特に注意してほしい格助詞・取立て助詞

例 かいもの ⑤ にちようび ③

- b. 下線・・・その課で特に注意してほしい活用語尾、副詞、および不変化辞（接続助詞、終助詞、副助詞、間投助詞）

例 結婚しています 帰ってから なかなか できません

- c. 枠線・・・その課のテーマに関わる代入可能な名詞類・形容詞・動詞語幹・または節

例 もし、雨が降たら、来ません。

<活動ユニット>・・・各テーマについていくつかの教室活動のアイデアをしめしています。最初の「ユニット0」は各テーマへのアイスブレイキング（イントロ）的な活動になっています。その後は、ゆるやかに基本的な活動から総合的な活動へと配列されていますが、それは必ずしも易しいものから難しいものへという難易度順になっているわけではありません。また、教室の人数や参加者のレベルなどにもよりますが、提示してある活動プランを授業ですべてやると、最低でも2～3時間はかかると思います。最初から順番に授業時間のゆるす限りやるということも考えられますが、実際の授業では、いくつかのユニットを選んでやってもかまいません。それから、この<活動プラン>は、あくまで活動のサンプル集というようなものですので、実際に授業を担当される皆さんが各ユニットを自由に作り変えてくださってもかまいませんし、全くオリジナルな活動ユニットを作っていかれることも是非やってみてください。

<活動シート>・・・上記の各<活動ユニット>で使うタスクシートですが、<活動プラン>と同様サンプル集とお考え下さい。皆さんで、作り変えたり、オリジナルなものを作られたり、インターネットなど、その他のさまざまなリソースを活用されることをお勧めします。

<書きまとめシート>・・・その日話したことを文字で書いてみる、文章に直して見るためのシートです。授業の活動で自分が話したことを文字で書くことによって、その日の「学び」がより確実なものになると考えられますので、話したことを「書いてまとめる」作業は毎回してほしいと思います。ただし、長い作文を学習者に「書かせる」ということではありません。本当に簡単な、場合によっては一つか二つの文でも良いですが、その日話したことを、きちんとした文に直すプロセスは重要です。一人でかけない学習者には、教師やサポーターが学習者の話したことを文で書いて見せて、それを書き写してもらう作業にきりかえてもいいでしょう。逆に、書くことが苦にならない学習者には、単文といわず、まとまった段落を書いてもらっても良いです。まだ、ひらがなを完全に覚えていない人には、「まずひらがなの練習を」というより、毎回、文を書きながら、ひらがなを覚えてもらうほうが良いでしょう。（もちろん、ひらがなの読み方・書き方を覚えるサポートも平行してやる必要はあります）。書く作業は、授業時間内で出来ないことが多いので、宿題にしたり、次の授業に回してしまいがちですが、できれば今日話したことを今日まとめるという方針で計画したほうが効果があると思います。できるだけ、授業プランの段階で、「書きまとめ」の時間を、最低5分程度でも、確実に取れるような時間配分にしてみてください。

以上、この教科書の構成と使い方について説明しましたが、本当は、この教科書は、実際に使う皆さん次第で、どのように使ってもらってもいいのです。コミュニケーションは言わば「生もの」です。繰り返しますが、教科書に書いてあることを書いてある通りにやっても、生きたコミュニケーションは生まれません。それは、この教科書でも、他のどんな教科書でも同じだと思います。重要なのは、実際に教室に参加する皆さんが、教師も学習者も一緒になって、生きた授業を作っていくことです。

「ようこそ にほんご へ」学習内容一覧

	テーマ	話題	機能	文型	語彙・表現	活動	参照市販教材との相関*
①	《人と出会う》	あいさつ 自己紹介 出身	初対面の挨拶 自己紹介	～は ～も NのN ～です・～ですか ～から来ました・どこから来ましたか	挨拶表現 (国名十)～人	・挨拶 ・クラスメイト同士の自己紹介 ・自国の挨拶紹介	ポT01「名前」 宝4「私の名前」
②	《家族》	出身 仕事 家族	家族について話す 仕事、趣味について話す	～から来ました ～に住んでいます ～をしています	家族名称 助数詞(～人) 趣味、仕事 どこ、なに	・家族の絵を描く ・家族構成、仕事、趣味を説明する ・日本の家族と国の家族を紹介する	ポT02「家族」 宝6「私の家族をしょうかいします」 これ1-12「わたしのたいせつなひと」
③	《近所》	自分の家 交通手段 時間 所在	自宅の所在地と周辺について説明する	～は～にあります/います ～まで～で来ます ～まで～で何分です ～に～があります	建物・店(駅、会社、スーパー等) 位置を表す名詞 どっち こっち、そっち、あっち、ここ よくいく店、いつもいく所、毎日通る道	・自分の家の周囲の地図を描く ・住んでいる家や町を紹介する	ポT03「近所」・T12「店」 宝31「わたしのご近所」・32「おすすめのお店」 これ1-4「まちのじょうほういろいろ」
④	《うち》	家 部屋	物の名前を聞く 部屋を描写する	これは日本語で何ですか ～は私の家にあります どんな～に住んでいますか ～は(adj)です もっと(adj)～がほしいです	部屋にある物の名詞 建物の種類(アパート、一戸建て) 形容詞(大小、広狭、便利不便) どんな ～がほしい もっと	・自分の家／部屋のイラストを書いて 何があるか言う ・家を紹介する	ポT04「うち」 これ1-17「わたしのへや」 や・P.4「田中さんの休日」など
⑤	《私の一週間》	一週間の予定 習慣的な予定	自分の予定について説明する	～ませんでした どこかへでかけましたか／どこへまでかけ ませんでした どこへいきます／いきましたか なに／どんなことをします／しましたか だれと いく予定 する予定 会う予定・・・	曜日 まいにち いつも 来週 週末 平日 休日	・先週曜日ごとにしたことを報告 ・来週の予定を言う ・アポイントゲーム	ポT08「休みの日」 これ2-3「やすみのひ」
⑥	《私の1日》	一日の行動について	自分の日課について説明する 食べたものについて言う	～時に起きました ～時から～時まで 何時間～ますか 起きてから 寝る前に	曜日、時刻 今日 昨日 明日・・・ ～時間 午前 午後 毎日 毎晩・・・など時を表す基本語彙 一日の生活を説明する基本動詞 朝起きてから/夜寝る前に	・自分の一日の日課をまとめる ・タベ／今朝、何を食べたか報告し あう	ポT07「私の一日」 宝28「一日の生活」 これ1-3「わたしのいちにち」 これ2-6「これはしないと」・2-11「いつもしていること」
⑦	《買い物》	どこでよく買い物するか 安いお店はどこか	買い物をする店について説明する 店を比較する	～へ～しに行く ～で買う ～と～とどっちが安いですか／～のほうが安いです ～はどうですか。 どうして?／～からです	基本的な食料品、日用品の名称、分類 スーパーの売り場の名称	・自宅周囲のお店について話す ・いつも行く店について話す、お店の評判を話す	ポT06「買い物」 これ1-15「買い物」
⑧	《持ち物》	持ち物 お金	物について説明する	〇〇、ありますか いえに～がある ～が要る 要らない いちばん大切なもの ～で買った〇〇 その靴 ドイツの靴 ナイキの靴 どんな～がほしい	連体表現(家にあるもの、ないもの等) その靴、いいですね。 ～で買った／～にもらった	・自分の家にある物、ない物、要らない物を説明する ・自分の持ち物紹介 ・一番大切なもの、プレゼントに欲しい物	ポT17「お気に入り」 これ1-14「それいいですね」
⑨	《仕事》	現在の仕事 過去の仕事 特技 家事	仕事についての嗜好、希望を述べる	～をしています/していました ～がしたい ～になりたい／なりたかった ～が好き、得意、にがて、(できる)	職業名 家事の動詞(洗濯、掃除等)	・今までにした仕事、将来したい仕事、仕事一般について話す ・求職カードに記入	ポT05「仕事」 宝9「これが私の仕事です」 これ1-2「私のプロフィール」

* 也:『多言語やりとり素材集』 宝:『にほんご宝船』 ポ:『にほんごボランティア手帖』 これ:『にほんごこれだけ!』

「ようこそ にほんご へ」学習内容一覧

⑩	《食べ物》	好き嫌い 外食 注文する 調理法	自分の食生活やs料理について話す	～はどこで買いますか ～が好き／大好き／嫌い／大嫌い 得意／にがて 好き嫌い／アレルギーがあります ～が食べられません ～で作る 何を作る だれが作る	(肉、野菜、魚)の料理 食品(肉、魚、そば等) 店(レストラン、そば屋) 味(おいしい、甘い、辛い等) 調理法(焼く、煮る、蒸す等) 特に～が好き 外食する 頻度の副詞(いつも、よく、ときどき、たまに)	・自宅の冷蔵庫の中身について話し合う ・外食の頻度を調べる ・得意料理紹介 ・レストランでの注文会話	ポT13「食べ物」 宝22「料理…美味しい食べ物！」 これ1-1「おなかがすきました」
⑪	《私のこれまで》	住んだ場所 学校・仕事 結婚・家族	自分の過去と現在について話す	～で生まれた ～年に～から～へ引っ越す ～から～まで住んでいた (お母さん)になりました 結婚しました／結婚しています／まだ結婚していません 学校に入りました／学校を出ました	～年前に、～才の時に ～と結婚する(離婚する) 出産する、就職する ～に入学する ～を卒業する まだ結婚していません そのとき生まれていませんでした	・自分の生い立ちについて簡単に話す ・過去の特定の時にいた場所を言い合う	ポT09「私のこれまで」 宝24「今までのこと話してみよう」 これ1-6「わたしのいちねん／いっしょう」
⑫	《ふるさととの思い出》	ふるさとについて 人口、場所、名物、よく見るもの等	自分のふるさとを訪れる人にアドバイスする	～に住んでいた ～は～の東にある ～から～まで～で～時間かかる 連休修飾:「～」というN よく見るものは ～を見た方がいいです	人口 1, 000万人、1億人等 東西南北	・自分のふるさとについて話す ・自分の国を訪問したい友人に案内、アドバイスをする	ポT19「学校」 宝40「こどものとき」 これ2-15「わたしのふるさと」
⑬	《季節・行事・風習》	日本と自国の季節、行事	日本と自国の季節、気候について話す 自国の行事について説明する	にほんは季節が4つあります にほんは今夏です なつは気温が40度ぐらいになります どの～がいちばん好きですか その時はみんな何をしますか 特別な	季節、月の呼び名、気温、～度 行事、祝日	・日本の一年について話す ・自分の国の一年について話す ・国の行事紹介	宝29「私の一年」 これ1-6「わたしのいちねん／いっしょう」 これ2-7「わたしのくにでは」
⑭	《健康》	これまでの病気 今、健康について心配なこと	病気の症状を説明する 健康についてアドバイスする	健康のために何をしていますか 1週間に3回くらい～ どこが悪いですか 何が心配ですか (胃)が痛い ～してください ～するといいです 多すぎます／少なすぎます	体の部位、病気症状、病院の診療科の種類	・自分の健康状態について話す ・伝統的な／個人的な健康法について話す ・問診表(多言語)を見て内容を理解する	ポT20「健康」 宝20「風邪をひいたら」 これ1-9「げんきです か？」
⑮	《家計・節約》	家計・生活費・貯金・節約法	日本と自国での生活費を比較する	いくら でしたか 全部で、税込みで いくら はらいましたか カードで、現金で お金を使う 生活費は ～円ぐらい かかります 貯金をします 節約をします せつやくのた	家計に関する表現、生活費の内訳	・毎月の生活費について話す ・お金をためてしたいこと、買いたい物 ・「私の節約法」	宝49「我が家の家計簿」
⑯	《男と女》	男女の役割 夫婦の役割分担	男女差のイメージについて意見を言う	どんな～が好きですか ほいくしは 男が／女が多いです どう思いますか ～(だ)と思います そう思います／そう思いません ～はだれがしますか ～してほしいです／してほしいと思います ～と～とどっちが得だと思いますか ～のほうが 生まれてよかった 生まれて損した どうですか	色名、スポーツ、職業名 ～と思う	・男っぽい／女っぽい色、スポーツ… ・ご主人／奥さんにして欲しいこと ・家事の分担について ・「男の仕事？ 女の仕事？」職業のイメージ	宝47「女の子・男の子」・48「嫁・姑」

* 也:『多言語やりとり素材集』 宝:『にほんご宝船』 ポ:『にほんごボランティア手帖』 これ:『にほんごこれだけ！』

ようこそ にほんごへ

地域日本語教育初期指導教科書

2013 年 3 月 19 日 発行

発行者：(財)石川県国際交流協会

著 者：今井武（テーマ②,④,⑤,⑨,⑩,⑫,⑭担当）

星 亨（テーマ①,③,⑥,⑦,⑧,⑪,⑬,⑮,⑯担当）

印刷・製本：ハヤシ印刷紙工株式会社

本書は平成 24 年度文化庁委託事業「生活者としての外国人」に対する日本語教育事業
—地域日本語教育実践プログラム（A）の一環として発行されました。

この教材は、日本語教育の現場で学習者に配布する場合に限り、一部を複写して使用することが出来ますが、本書を無断で複製、改変し、販売もしくは転載することは禁止します。